

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成24年5月23日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

仏法のことは急げ

瓜生津隆真

用事がある、仕事がある、とっていいたら、そのような用事や仕事は一生ついてまわり、つきることがありません。そのために仏法を求めることが後回しになるのも当然です。まだ早いとか、定年になって暇ができてからとかなどと考えているなら、いつまでたっても仏法は聞けません。それでは一生涯仏法は無縁ということになってしまいます。

これにちなんで思い起こすのは「蓮如上人御一代記聞書」第一九八条に出ている金森の善従のことです。善従は蓮如上人の門弟で、道西ともいい、近江金森に住して、蓮如上人の本願寺再興を支えました。

ある人が善従を訪ねてきたときのことで、その人がまだ履物も脱いでいないうちに、善従は仏法のことを話しかけました。傍らにいた人が、「まだ履物も脱がれていないのに、なぜそんなに急いで話されるのか」と言ったところ、「出る息は入るを待たないという無常の浮世である。もし履き物を脱がれる前に死去されたら、どうするのか」と言われたと言うのです。

「出る息は入るを待たない」といった善従の言葉は、蓮如上人の「御文章」にもあります。人のいのちは出る息と入る息の間にある、「朝には紅顔あって夕べには白骨となる」のであって、このようにこの世のいのちは無常であり、落とせば壊れる茶碗のように、いますぐにでも壊れるのです。しかしそれだからこそ、そのいのちが壊れずに今あると思うと、とても愛おしく、大切にせずにはおれません。このころはすべてのいのちに対しても同じであるのが仏であって、その心はすべてのいのちをわけへだてなくとおしむ大慈大悲にほかありません。

仏法を聞くのに明日という日はない、なにはさておいても今聞くのだ---善従はそういう心得でもって教えを聞いていました。

このように自分のいのちが無常であるということを知るなら、一瞬一瞬のいのちがいかに大切であるか、今なすべきことは何であるか、ということを実に考えるようになるのです。仏法はそこから始まるといっても過言ではありません。

(中 略)

無常の現実になが身が直面した時、私たちは、いったいどのようにそれを受け止めるでしょうか。生死の一大事の解決をめざして歩もうとするのか、それとも目を背けてそれから逃避しようとするのか、あるいは忘れ去ろうとするのか、そのうちのいずれかでなかろうかと思えます。仏教には「この世のすべては移り変わる。怠ることなく努めよ」と遺言された釈尊の最後のことが伝えられています。

諸行無常---と釈尊は言って涅槃に入られたのです。無常の理をしっかりと心に止め、悟りをめざして努めよ、と教えられているのであって、釈尊の教えはこのように、無情に始まり無常に終わっているということが出来ます。

今年のテーマは なかまづくり

たくさんの『寺友-てらとも』（お寺でご縁をいただいたともだち）が目標色々企画していきます。一人が一人に声をかけましょう。すると倍です。

なかまがたくさん増えたらいいなあ。 **そんな第1弾**

正善寺 秋のバスツアー

山口別院へ参拝しよう!

秋穂のえびづくしに行こう!

- ◎ 日 時 平成24年10月10日(水) 8時出発18時帰寺予定
- ◎ 会 費 1名につき 10,000円程度予定 今から貯金今から貯金
- ◎ 参加予定数 20名程度 早めに予約をどうぞ
- ◎ 行程と申込み 別途にチラシを作成して、改めてご案内します。

平成24年度かすみ草の会総会

○日 時 6月5日(火) 11時より

○会 場 正善寺本堂

新会員歓迎します。会員の皆様

お誘い合わせの上ご参加ください。

ネエネエちょっとおたずね？

お念珠は、いつもどっちに持つの？

左 手

合掌するときには、紐を下にして、念珠の輪の中に、親指以外の指を通します。親指で押さえて胸の前へ。

腕輪念珠は左手に、合掌はそのまま

ご 案 内

永 代 経 法 要

	2日(土)	3日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

と き 平成24年6月2日より3日まで

講 師 当 山 住 職 自 勤

初 参 式

と き 平成24年6月3日(日) 午前11時開式

幼児が初めて仏様の前にてお参りをする儀式です

- ◎ 家族お揃いで、30分前にご集合ください。
手形の色紙作りをします。終了後、記念撮影を致します。
- ◎ 参加申し込みは、準備の都合により5月31日(木)までに、お寺へお知らせください。お待ちしております。

法 要 準 備 会 みなさん！お集まりください。

5月30日(水) 10:00 から 15:00 まで

本堂納骨所もみんなで綺麗に致します。昼食準備しています。

小倉組仏教婦人会総会・研修会

5月25日(金) 13:00より16:00頃まで

会 場 大手町 永 照 寺

講 師 外 松 太 恵 子 氏

小倉組仏教壮年会総会・研修会

6月16日(土) 18:00より

会 場 魚町銀天街 竹 な か

講 師 未 定 懇 親 会 有 り

行事ご案内 【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

盂蘭盆会(盆会)(うらぼんえ)

8月13・14・15日はお盆です。正しくは「盂蘭盆会」といいます。

お寺での特別の法要は致しませんけどうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒宅お参りは**8月初めより実施**しています。都合のある方、時間に制限のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。早めの期間であれば時間通りにお伺いができます。

平成24年夏のつと

と き 8月26日(日)16:00~17:00
と ころ 神岳保育園 園庭
参加対象 自 由
イベント 食品、手作りバザー各種
ゲーム大会 園児の盆踊り
園児の祇園太鼓披露
神岳保育園・父母の会主催

かすみ草の会出店参加

前坊守 酒井カスミ 十七回忌法要のご案内

◎日 時 9月12(水) 午後3時より ◎会 場 正善寺本堂
◎導師・法話 八幡東区 慈光寺 柳原浩文師
門信徒の皆様をはじめ、有縁の方々、ご参詣、ご焼香ください。

次回の法要のご案内

秋季彼岸法要

■ 平成24年9月13日(木) (昼・夜席)・14日(金) (昼・夜席)・15日(土) (昼)

【講師】 下関市 本願寺派布教使 寺田教昭 師

編集後記

新緑がとても美しい季節です。木々の緑を見ながら深呼吸を深くすると、生かされていることを改めて感じ、「いのちありがとう」と思います。今朝、保育園の子どもが、先日みんなで植えたひまわりの種が土の下から、双葉をだしていることをよこ

んでいました。一人、二人とやってきて、かわいい双葉をみても喜びが増えていき、私はその姿にまた、喜びをいただきました。仏教保育を子どもたちとさせていただいておりますが、小さな両手をあわせて拝む合掌の姿は(「南無阿弥陀仏」とまだはっきり言えない幼子は「なむんだぶちゅ、なむんだぶちゅ」といいます)とても尊いものがあります。そして私の一番好きな光景でもあります。なぜなら、あわせる小さな手に「そのままがいいよ、あるがままでいいよ、あなたのすべてを私がひきうけているからね。安心していいよ」と子どもたちにささやいて下さる仏様の声がきこえてくるからです。この世に生まれてきたからには死は必然、老若男女、死は必然です。でもなかなか死を考えることはしません。「暗くなることを言いなさんな」とおこられそうです。でも、死を考えることで、亡くなって行かれた家族や友人の死を想うことで、「わたしはいかに生きていくか」をおもうことになるのではないのでしょうか。生きているって？生きていくって？生かされているって？死んでいくって？すこーしふれてみませんか？

阿弥陀様のおもいがあふれる、仏法と一緒に聞きましょう。ほとけさまの宝のお山で心よりお待ちしております。

合 掌